

IoTに資する高周波デバイスにおける機能性酸化物の役割

The role of functional oxides in high-frequency devices for IoT

日時

2018年
9月21日(金)
13:30-17:30

高度IoT社会では、既存のエレクトロニクス市場のみならず、医療、車載、エネルギーといった異分野融合による巨大なマーケットが生み出されると期待されます。IoTでは、高周波帯域での通信モジュール、受動/能動部品、センサーなど多くのデバイスが必要になる中、機能性酸化物はデバイスを構成する誘電体、磁性体、半導体、あるいは圧電体材料として重要な役割を担うと考えられます。そこで今回、表記のトピックでシンポジウムを企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

基調講演 (60分)

- ◆ **井上 光輝 (豊橋技術科学大学・副学長)**
磁性ガーネットベース人工磁気格子と光・高周波応用

招待講演 (40分、五十音順)

- ◆ **安藤 和也 (慶應義塾大学)**
金属酸化物を用いたスピンオービトロニクス
- ◆ **杉本 安隆 (株式会社村田製作所)**
高周波無線通信技術を支えるLTCC材料・プロセス技術
- ◆ **東脇 正高 (情報通信研究機構)**
高周波デバイス半導体材料として見た酸化ガリウム (Ga_2O_3)
- ◆ **柳谷 隆彦 (早稲田大学)**
最新の窒化物BAWフィルタの動向と酸化物圧電薄膜の位置づけ

※敬称略

企画：機能性酸化物研究会

世話人：中川原修 (代表世話人：村田製作所)、田中秀和 (大阪大)

秋永広幸 (産総研)、組頭広志 (東北大)、松野丈夫 (大阪大)

上野和紀 (東京大)、木下健太郎 (東理大)、高橋竜太 (東京大)